

2 目標達成計画

作成日: 平成28年11月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	介護計画書の内容と介護記録上の実施内容の整合性がとれていない事が多く、一辺倒な実践内容や記録になりがちである。	介護計画書と介護記録の整合性を持たせ、個別の実践内容が展開できる。	<ul style="list-style-type: none"> 介護計画書の内容整備。 記録との整合性を持たせるように、記録を綴じているファイルの見直しを図る。 記録の書き方に対する再学習。 	6か月
2	35	近隣施設との合同の災害訓練の実績はあるも、途中で取り組みが頓挫している状態である。当施設に於いては、近隣に、介護施設以外は民家等がなく、協力体制作りが課題にあげられている。	合同の災害訓練を継続的に実施し、協力体制の構築と共に、「協定書」締結等により、形式上の協力体制作りも明確化する。	<ul style="list-style-type: none"> 合同災害訓練の再実施。 施設管理者対応により、書面での協定を締結する。 	6か月
3	36	他入居者がいる共有スペース内に於いて、直接的な声かけでのトイレ誘導や、排泄の有無の確認等が行われている場合があり、羞恥心に即した対応ができていないことが多く見られる。	個人のプライバシー、羞恥心に配慮した対応を全職員が共通して行うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 職場会議で話し合いを行い、日々の対応についてのルール、取り決めに再確認する。 定例の会議にて、都度振り返りを実施する。 排泄誘導の際は、耳元で話しかけたり、排泄に関する話が聞こえないよう、配慮することを徹底する。 	3か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。